

漢 区

ミュ  
坂の上から

ジ 
アム

海のキリン  さん

がみえる 
ロード



王子動物園の観覧車ごしに見える「海のキリン」さん

*“山側”の「王子動物園」から、“海側”の「兵庫県立美術館」を繋ぐミュージアムロード。その先の海上には、私たちの生活を支えている、ガントリークレーン = 通称「海のキリン」さんがいます。

*神戸人にとって、“山側”“海側”の感覚はとても大切。その両方にキリンがいるという素晴らしい偶然！

ミュージアムロードの坂の上からよく見える「海のキリン」さんを、街の風景に取り入れて親しむことができれば素敵だと考えました。



— 海に見える街、海を見る時間。 —

海に見える街に住んでいる私たちは、普段はあまり海を見る時間を意識していません。いつも見えている『遠景』の海麒麟を、『近景』にも置くことにより、海を眺める時間が少しふえます。10年後も20年後も、山と、海と、海麒麟と、愛される街並みに。

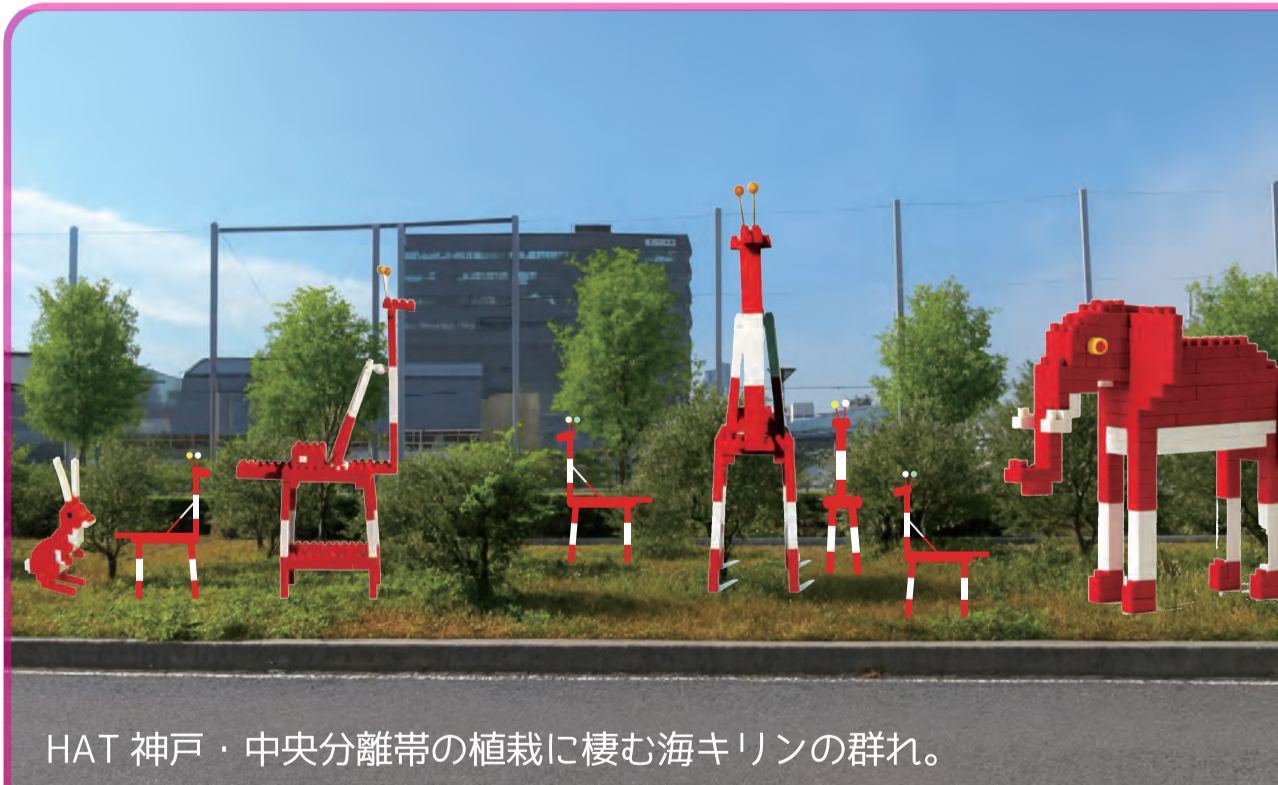


ミニ麒麟の背中には花壇を搭載

大麒麟の下は憩いの場に。

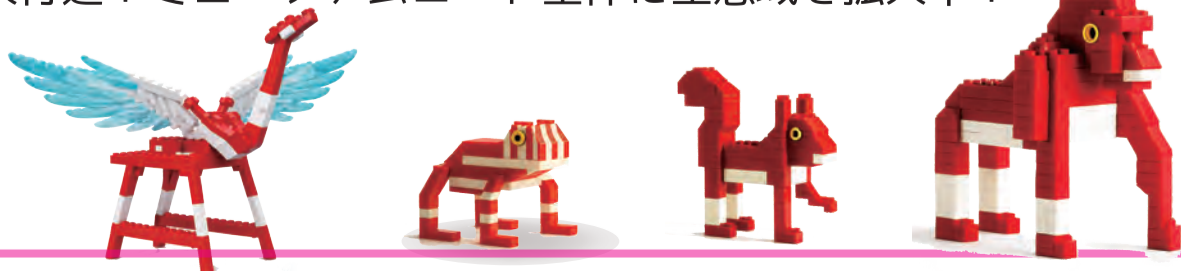
大きな麒麟の下で。ご近所の人々と世間話に花が咲き、小さな麒麟の背中には季節の花が咲きます。ミュージアムロードに沿って並ぶたくさんの親子麒麟たちが、わたしたちの生活の一部となります。

さらなる展開！



HAT 神戸・中央分離帯の植栽に棲む海麒麟の群れ。

ガントリークレーンの基本構造を引き継いで、新たな仲間たちが生まれます。上陸した「海アニマル」たちが、王子動物園を目指し大行進！ミュージアムロード全体に生息域を拡大中！



「海の麒麟さんとゆかいな仲間たち」をつくらうワークショップ！



シン神さま!?

丈夫なフレーム構造の仕組みを学びながら自分だけの「海の麒麟」をつくりま。

王子公園はかつて、
若一王子権現(アマテラス)
を祀る王子神社の境内だった。

山側

山と海を繋ぐ

海麒麟

ミュージアムロードを、参る。

王子動物園

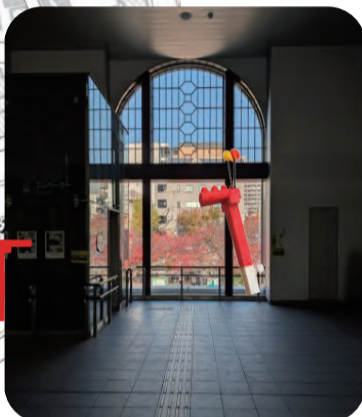


住宅街には「花壇麒麟」。



ずらりと並んだ「海麒麟」たちは、まるで参道のように。毎日の通勤通学を見守ってくれます。ツノは街灯と同じデザイン。

JR 灘駅



駅舎の窓からコンニチハ。

阪神 岩屋駅



阿部美樹志氏による美しい石積装飾を「海麒麟」カラーに。

↑ここでゴリラの目撃情報アリ!



瑞獣「麒麟」



石灯笼に「麒麟」の姿!?

敏馬(みめめ)神社

柿本人麻呂によって万葉集にも詠まれた「みめめの浦」。かつて鳥居の前にあった美しい海岸線に想いをはせながらミュージアムロードへ。

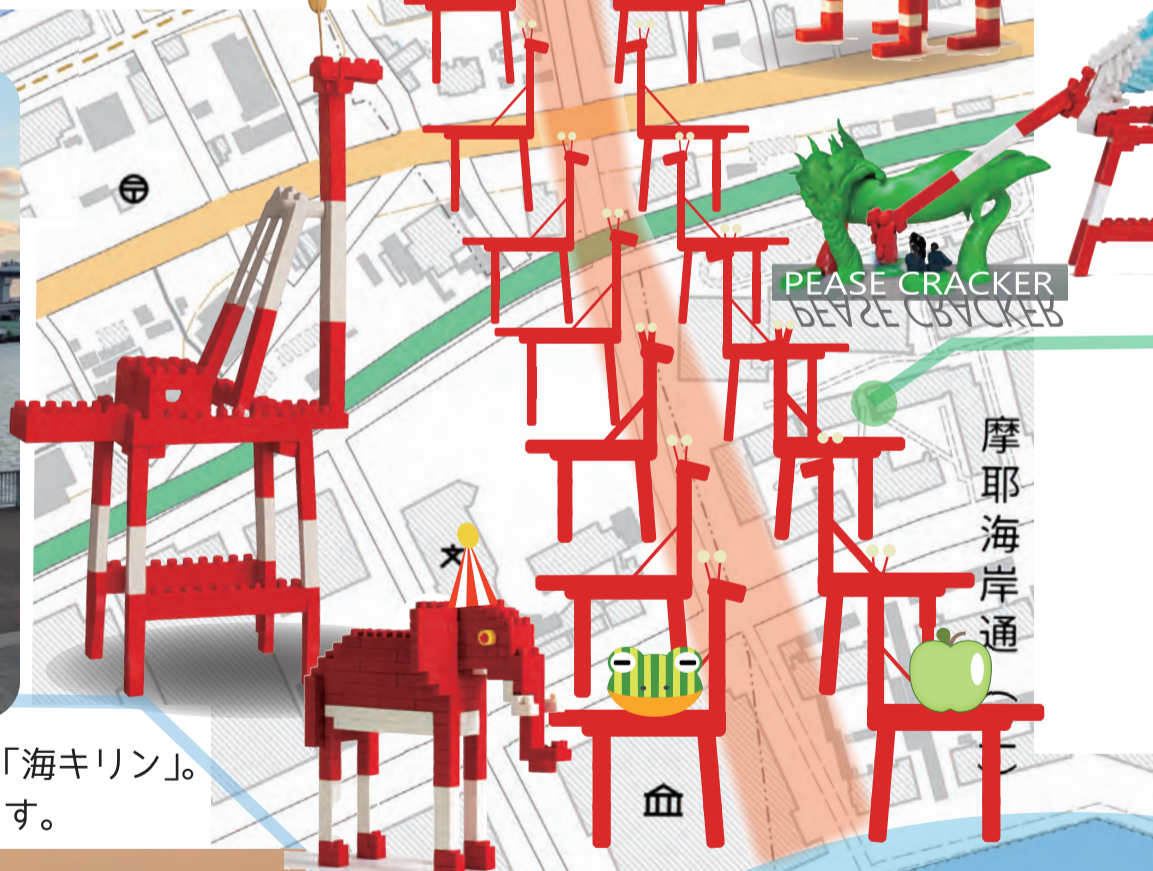
敏馬

←突然変異のマメを食べて、キメラ進化した者が神の遣いに。

↓街路樹の葉っぱを食べる麒麟



サン☆シスターの視線の先に「海麒麟」。「なぎさ公園」からよく見えます。



PEASE CRACKER
BEVZE CBUCKES

摩耶海岸通

兵庫県立美術館

海側

海麒麟の大鳥居を抜け、かつての王子権現へ。

